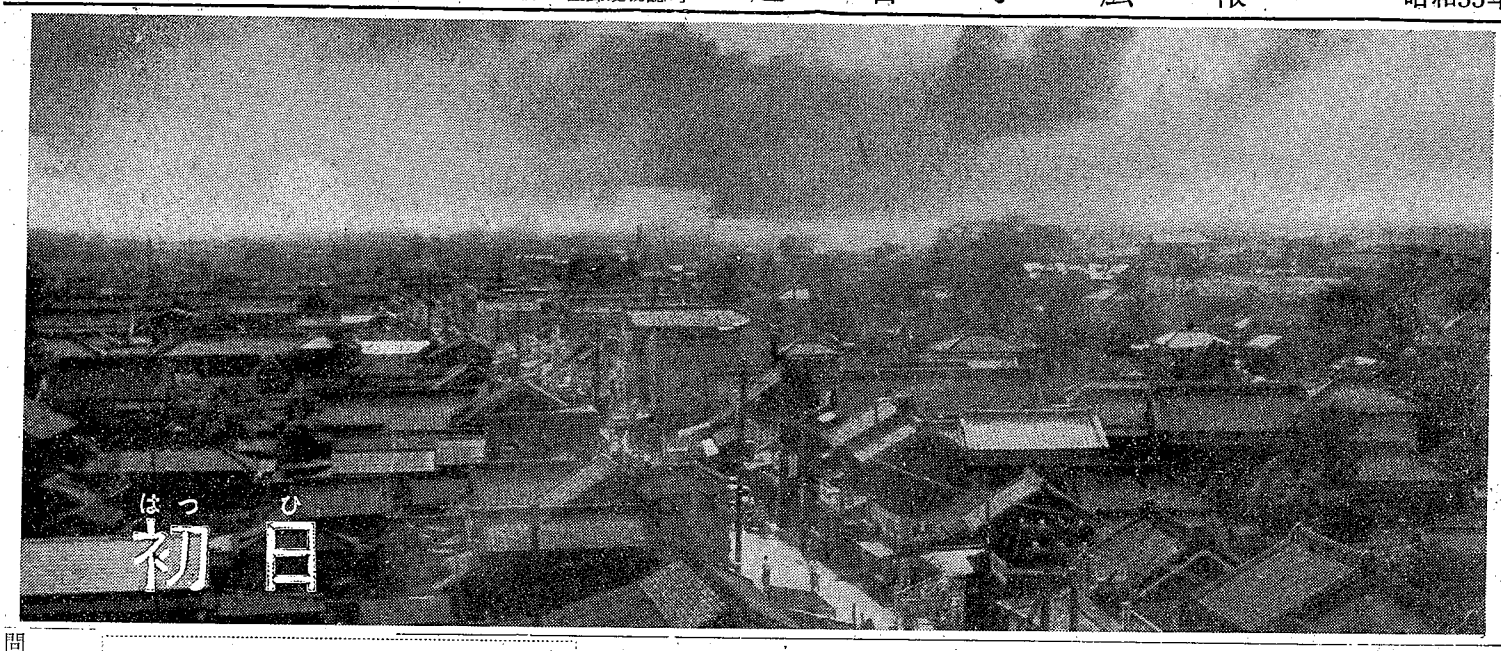


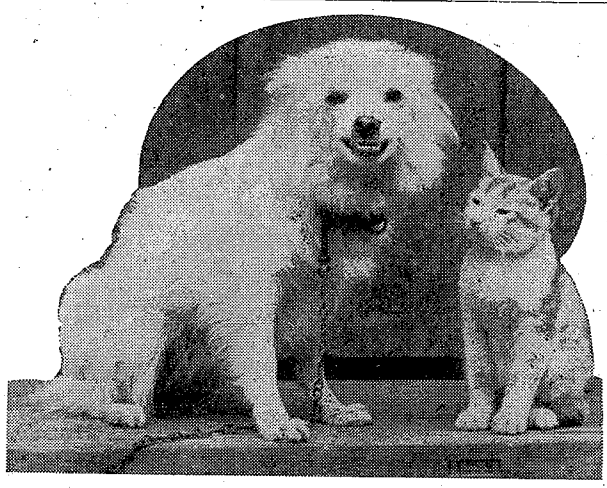
越谷町広報
（定価一部 二円）
編集と発行
埼玉県南埼玉郡
越谷町役場
電話越谷42,517,519,522番

＝役場事務は六日から執務＝

恒例の通り年末年始における役場事務は去る廿八日に御用納めをすまし、正月四日は全職員の初顔合せ、六日に仕事始め（五日は日曜日にあたるので）となりますので、事務取扱いは四日まで休ませていただきます

＝総務課＝

今"年"は"私"達"の"年"です"



皆さんあけましておめでとうございます、この希望ある越谷町に住む私達は日頃ご主人に愛されながらいささか防犯の一役を担つて家庭の留守を守る大役を果しております、こうしていたつて素直な私達の仲間はご主人から役場へ登録していただき予防注射も進んでうけ、現在約一、二〇〇頭おります、今年こそは私達一致団結して職責を充全に果し、人間社会に貢献したい覚悟でおりますので、どうか旧年に培しまして私達を愛して下されますようおねがい申し上げます、ごらんの通り猫と私は、人間社会では仲が悪いといわれておりますが、いたつて仲がよいですお互い理解しあつて、お互いの幸福のため手を取りあつていきたいものです

一月十五日は成人式

町内にはこの日成人する人々が八二五人おります、この人達はこれから日常生活の上で選挙権をはじめ、法律上完全な権利義務をもつことになり、独立した一個の人権として社会生活すなわち社会の重要な形成力となつて働くことになります、新しく民主社会に自由と正義をうちたてゆくこれらの人々を、わたくし達は心から祝福し励まし、こんごの精進をお祈りしましょう

＝国民祝日には国旗を掲げましょう＝

（注）成人になられた方は昭和十二年一月十六日から同十三年一月十五日までに生れた人、成人式は越中で行う予定ですが、追つて通知いたします、右該当者で十三日までに通知の届かなかつた方は教育委員会までお申し出下さい

「電話で失礼ですが」

なんてもう古い観念です、訪問がかえつて迷惑になることがあります、新生活はお互いにムダを排除して生活を合理化するところからはじまります

年頭にあたつて

越谷町長 大塚伴鹿

みなさん明けましておめでとうございます、昭和三十三年は越谷町が発足して第四回目の希望ある新年であり、心からそのお慶びを申し上げると共に、みなさんも、輝かしい新春をお迎え下さつたことと存じます、いつも新年を迎える度に、過去の施策が果して住民の福祉に充分そいえたか、今後の町政をどのように進めるか、町政への深い反省と、今後の施策に思いを新にし、ことしこそはの感を深くするものであります、私は昨秋十一月三日の合併三周年記念式典にも申し上げたのでありますが、合併して一年間はいわば揺らん期で、旧町村の諸問題を調整し、二年、三年はこれを地域的な、そして具体的な事項を充分把握して整備調整する時期でありました、之に対し今後こそわが越谷町建設を大きく強化拡大する時期であります、勿論町民各位が町政によせる深いご理解とご協力に対しましては忘れることの出来ないことであり、それは町政の大きな原動力であります、昨年は中学統合への第一歩として、久しく待望しておりました東中学校の第一期、第二期工事が完成したのをはじめ、大小の建設諸事業が順調に進められ、一方町政の原動力である町財政も、町民各位の文字通りの真剣なご努力によつて、幸い前年に引続き健全財政を維持することができたのであります、越谷町の前途にはまだ中学統合の問題、土地改良、都市計画、上下水道事業、その他行政各般にわたる諸施策はまことに重且大であることを心から痛感しておる次第であります、本年こそ町拡充の前途光輝ある諸事業遂行に幾多の困難と障害をのりこえ郷土越谷町発展に、そして町民福祉増進に最善の努力を捧げたいと存じます、おわりに町民のみなさま方の限りないご多幸を心からお祈り申し上げまして、年頭のあいさつといたします

新年を迎えて

越谷町議会議長 横田正男

町民の皆々様明けまして御目出度う御座います、わが大越谷町も大同団結をいたしましてここに満三年になりましたいわばやつと腰元がしつかりとしていただづら盛りの腕白時代になりました、これからが親元の手も目もはなせない心配の多い大切な時期に到達したのであります、世にいう三つ児の魂百までもというが如く、ここで十分にしつかりいたしませんと、将来越谷町発展に、また町民福祉のために重大な影響がもたらせられるのであります、そこで決議機関である議会においてぜこの貴重な三才の童子を、そこなうことなく立派に育て上げるために執行機関である町当局と共に手を携て円満裡に和衷協同の誠をいたし、互に反省しあつて恰も車の両輪の如く円滑な運営をはかつて行きたいと存じます、今日世界はわれわれの夢想だにもいたしません、驚異に値する人工衛星の発明、次で大陸間弾道弾等のミサイル兵器、あるいは原子爆発力による平和利用等、つぎつぎと人智の進歩発展は計り知れぬめざましいものがあります、そこでわれわれはこの進歩発展におくれることなく、常に創意工夫をこらし、常に思いを町民にいたしまして、産業経済の発展にあるいは学校教育の育成にまた保健衛生の向上、上水道の早期完成、且また社会福祉の事業のため厚生施設などこれら諸般にわたる事業をいたしまして町民福祉増進に、また文化生活向上のために尽力いたしたい覚悟でありますから、何卒町民各位におかれましては大越谷町建設発展のため絶大なる御支援、御鞭撻を賜はらんことを御ねがいしまして、新年の祝のあいさつといたします

昭和33年1月（西暦1958年）

日	月	火	水	木	金	土
			(1)	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	(15)	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	…

行事

一日 元旦、初詣で
六日 役場仕事はじめ、小寒（冬至から十五日目）
七日 七種、七くさ粥
成人の日
十五日 藪入り
十六日 大寒（小寒から十五日目）
廿一日 町県民税第四期納期限

役場人事異動

▽新採用 十二月廿八日付 臨時雇員、飯山岳司（水道課勤務）十二月二十三日付 保健婦、前田佳子 保健婦 木水ゆり子（国保課勤務）

○越谷図書館第三十回月例読書会 一月十一日（土）午後四時阿部弘之作「春の城」第二閲覧室、参加御自由

謹賀新年

昭和三十三年元旦

▽越谷町役場
町長 大塚伴鹿
助役 池ノ谷与一郎
収入役 浅見英蔵
ほか職員一同

▽越谷町議会
議長 横田正男
副議長 大貫亥蔵
議員 横川市太郎 藤田岩太郎 岡安忠蔵 平信夫 武藤栄吉 須賀義正 須賀定吉 浅子信治郎 大野義雄 大野寛人 降田清一郎 藤井恒敬 中井文次郎 中村喜四郎 石垣正平 岡本和三郎 中川多四郎 藤間高介 川島有為 加藤穩一郎 山口浩 浜野宗市 中村亥之輔 金子佐五八 井出門平 小林弥藤次 木下半助 須賀孝専次 深井哲三郎

▽越谷町教育委員会
委員長 山口芳文
委員長代理 瀬尾哲太郎
教育長 秋山長作
委員 増田俊雄 浅井堅教
ほか職員一同

▽越谷町農業委員会
会長 大塚伴鹿
会長代理 松永悦蔵
農地部会長 須賀定吉
ほか委員一同、職員一同

▽越谷町選挙管理委員会
委員長 浜野梅次郎
委員 染谷勇快 永野新太郎

▽越谷町消防団
団長 荒井政太郎
副団長 大貫亥蔵
同 降田清一郎
ほか分団長、団員一同

民生委員一同、行政連絡員一同
公平委員一同、監査委員一同、納税組会長一同、衛生協力員一同、消防委員一同、固定資産評価審査委員一同、国保運営協議会委員一同、新町建設審議会委員一同、水道専門委員一同、社会福祉協議会委員一同、広報協力員並びに広報専門委員一同、社会教育委員一同

廣報板

一月は町県民税第四期分の納期です

（税務課）

本年入学するお子様のジフテリア予防接種

本年入学する者は、昭和二十六年四月二日生から、昭和二十七年四月一日生までのお子さんです

このお子様に対して、ジフテリアの予防接種をいたしますので一月中旬頃該当家庭に通知状が参りますから予防注射をして下さい（詳しい事は通知状で）

手数料は一人十円です

ご近所で通知洩れなどありましたら地区の学校にお問合せ下さい（厚生課）

青色申告納税者にお願い

一、青色申告納税者の昭和三十二年度決算書の提出は一月二十日までに提出して下さいご希望の方は右の期日までに商工係へお届け下さい

二、昭和三十三年度青色申告納税者で、簡易帳簿ご希望の方は商工係にありますから、お申し込み下さい、一部三百七十円です（建設課商工係）

休電のお知らせ

変電所増強工事のため次の日時に全線休電させて頂きます

一月十九日（日曜）午前八時から午後三時まで（雨の場合は二十六日同時刻）東電越谷営業所長

六日から定期結核健康診断

三十二年度一般住民に対する結核健康診断を次の通り実施いたしますからお知らせします（厚生課）

場所		ツベルリン反応	BCG接種	X線撮影
川柳智泉院	一月六日			一月八日
蒲生公民館	〃	七日	〃 九日	
大相模	〃	〃 八日	〃 十日	
増林	〃	〃 九日	〃 十一日	
大沢小学校	〃	十四日	〃 十六日	
越ケ谷	〃	十六日	〃 十八日	
出羽診療所	〃	二十日	〃 廿二日	
荻島公民館	〃	廿一日	〃 廿三日	
新方診療所	〃	廿二日	〃 廿四日	
越谷病院（大袋・桜井地区）	〃	廿三日	〃 廿五日	

とじて御保存下さい

12月定例町議会

追加予算ほか廿一件
慎重審議、可決さる

昭和三十三年度追加更正予算など廿二件を審議する十二月定例町議会は、去る廿三、廿四日の両日にわたり開かれましたが、いずれも原案通り可決されました、第一日は午前十時五五分開会され、議事録署名議員、日程を決め、請願、陳情の報告があつて議事に入り、別掲提出議案の順序によつて慎重審議し、原案通り可決したあと、昭和三十一年度決算認定と役場支所及び出張所設置条例一部改正についてを、総務常任委員会に附託して午後四時十六分閉会しました

第二日は前日総務常任委員会から各常任委員会に、昭和三十一年度決算の部門別審査を附託したので、総務、厚生、建設、文教の各常任委員会が午前中開かれ、午後三時四分開会の本会議にその結果が各常任委員長から報告され、報告通り可決されました。つづいて別掲提出議案中選挙管理委員及び補充員の選挙以下四件を慎重審議して決定され、午後四時十五分、二日間にわたる議事の審議はとどこうりなく閉会いたしました

越谷町議会常任委員会委員選任

これは議会提出のもので、いままで構成されていた常任委員会の委員を別掲の通り新たに選任しました

越谷町給水条例設定

すでにお知らせした通り、上水道事業も着工され、目下その工事が進められておりますが、本年には一部給水される見込みでありますので、これが給水上必要な条例を設定したもので、五章三十条からなつています、例えば給水装置とはどういうのか、これが設置についての条件及び給水についての認定や届出事項又使用料、手数料の金額及び徴収、給水上の取締事項などを定めてあります

越谷町農業委員会の選挙による委員の選挙区及び各選挙区定数条例設定

本年七月に四地区農業委員会が町一本に統合され発足をみましたが、本年四月廿七日現委員任期満了に伴い、これが選挙施行上必要な選挙委員の選挙区及びその定数条例を農業委員会法にもとづいて別掲の通り決定されたものです、この条例は知事の承認のあつた日から施行され、施行後最初に行われる一般選挙から適用されます

越谷町職員の給与に関する条例の一部改正

今回人事院勧告にもとづき閣議決定をみた職員の期末手当〇・一五増によりいままであつた条例の一部を改正したものです

越谷町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

これも町職員に準じまして議員の期末手当も増加されたもので、いままでの条例を一部改正しました

越谷町役場支所設置条例及び出張所設置町長の権限に属する条例の一部改正

事務を支所並びに出張所に分掌して行つてきましたが、その内から、戸籍住民登録、配給、国民健康保険、地区農業委員会などに関する事務を本庁に吸収するもので一月十日から施行することになりました、ただ農業委員会に関する事務だけは、すでに昨年七月廿八日に四つの農業委員会が町一本に統合されたのでその日から適用されます

越谷町消防団条例の一部改正

機械化消防によつて消防団員の整備が行われ現在六四三人に減じたので、条例をいままでの一、四〇〇人以内を半分の七百人以内に改めたものです

予算外の義務負担

町が警察共済組合の長期投資計画にもとづいて、三十三年六月末日までに建設する九十万円相当の警察職員住宅三戸を借入れ、十カ年間でその住宅建設資金に対する補助金年次交付計画によつて、年々警察共済組合埼玉県支部に町が交付するもので、十カ年後にはその住宅全部一切の所有権を町に無償譲渡する条件で、警察共済組合埼玉県支部とこの住宅建設並びに使用について協定を締結し双方確認することになりました

土地交換について三件

（その一）将来の統合中学の関係を考え、町立越ケ谷中学校敷地拡張のため町有地二五五坪余と、校庭北東寄越ケ谷二番の畑四畝一八歩、田三畝二六歩を交換の上取得しました

（その二）町立大沢小学校敷地北側として現在大沢中学校敷地北側の田六畝六歩、同東側の畑二七歩を町が取得し、そのかわり町有地、現況宅地の同中学校入口道路北側にある土地六畝二三歩と交換したものです

（その三）埼玉県所有の工事事務所敷地であつた大沢横仕込にある宅地十四坪二合の土地を、町有である同地内宅地の四二坪三九合と交換し大沢支所側町道敷地にあてることになりました

寄附受入れ

越谷町越ケ谷四三二九番地の吉野謙三氏から警察住宅である木造平家三棟（総坪四八坪七五）を町に寄附の申入れがあつたので、これを町有財産として受入れ取得することになつたものです

12月定例町議会提出議案

昭和三十二年度越谷町歳入歳出追加更正予算

△一般会計（第六回目）＝歳入歳出共三、〇六四、九九〇円追加、歳入の主なものは普通税の増収見込と地方交付税であり、歳出は消防費、土木費、特別会計上水道費の繰出金であります

△特別会計＝(イ)公益質屋会計で前年度繰越金が三十万円追加され、歳出で一般会計へ三十万円繰出され(ロ)上水道会計では歳入において一般会計から七七八、二二五円追加されまた上水道の起債が当初予定した七百万が三百万円になつたので更正減し、歳出においても営繕費で三百四五万余円を更正減せざるを得なくなつたものです

昭和三十一年度決算認定

決算書については監査委員会の審査に附しましたが、その結果はいづれも正確であると認めた意見書が井橋、中川両監査委員から提出されましたが、各常任委員会において附記審査の結果認定され且本会議において各常任委員長報告通り決定されました

△一般会計＝歳入一四二、七五五、一四九円、歳出一三三、八〇九、七四七円、差引残高八、九四五、四〇二円（翌年度へ繰越）

△特別会計＝(イ)公益質屋歳入三、六六八、九九九円、歳出二、九九五、三三二円、差引残高六七三、六六七円（翌年度へ繰越）(ロ)国保事業勘定、歳入二五、八二二、七八六円、歳出二二、七四四、七三五円、差引残高三、〇七八、〇五一円（翌年度へ繰越）(ハ)国保施設勘定、歳入七、六九〇、四四六円、歳出七、六五六、五五二円、差引残高三三、九一四円（翌年度へ繰越）

越谷町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

これは議会で次の通り選任されました

△選挙管理委員＝浜野梅次郎、染谷勇快、永野新太郎

△同補充員＝井原与之吉、中野謙三、小泉市右衛門

草加町、越谷町小中学校組合会議員の選挙

次の通り議会で選任されました

深井哲三郎、横川市太郎、横田正男、田中与三郎、中村正之助、中村保雄

簡易水道布設認可申請

ご承知の通り大袋地区は年々伝染病保菌者が出ておる現状を考え、衛生的見地から簡易水道をこの地に設置することがよいという県の方針でもあり、また地元からも熱心な設置の陳情もあつたので、とりあえず厚生大臣に簡易水道布設の認可を申請しようということに決りました

監査委員選任につき議会の同意

議員の中から選任されていた監査委員中川多四郎氏が昭和三十一年度決算認定を機会に退職を申し出られたので、新に中村亥之輔議員を町長が選任し議会の同意を得たものです

臨時出納立会議員の選挙

本定例議会開会中臨時出納立会議員藤井、浅子、須賀三議員の退職願が議長に出され受理されたので町長から町議会に対し適材者を選任ねがいたいとの提案により、新に議会から藤井恒敬川島有為、大野義雄各議員が選ばれました

新に選任された各常任委員の顔ぶれ（敬称略）

（◎印委員長、○印副委員長）

△総務委員会（定数八名）◎木下半助、○須賀孝専次、平信夫、須賀義正、藤井恒敬、中川多四郎、中村亥之輔、金子佐五八

△厚生委員会（定数八名）◎武藤栄吉、○降田清一郎、横川市太郎、須賀定吉、大野寛人、中村喜四郎、石垣正平、横田正男

△建設委員会（定数八名）◎浜野宗市、○中井文次郎、岡安忠蔵、浅子信治郎、大野義雄、岡本和三郎、加藤滝一郎、小林弥藤次

△文教委員会（定数七名）◎井出門平、○深井哲三郎、大貫亥蔵、藤田岩太郎、藤間高介、川島有為、山口浩

歳末愛の運動によせた美挙三つ

町社会福祉協議会による歳末たすけあい運動に呼応して、不幸な人々え愛の手をさしのべた美談が三つありましたので、次に掲げます

蒲生小六年児童の美挙

「その一」蒲生小学校六年二組では児童会を開き、私達最後の社会奉仕として歳末助け合い運動に協力し、愛の手をさしのべようとあたたかい真心こもつた金品を町厚生課に寄贈されたものです、これには熱情ある手紙がそえられてあり、この行為には関係者はもとより係員ひとしく感激させられました

△寄贈された金品＝現金四、七〇〇円、衣料品、雑誌

匿名で少年が贈物

「その二」廿日午後十四、五才の少年が衣料品十六点を役場厚生課は持参し、どうか困る人々にこれを恵んで下さいと名も告げずは立去りました、係員もこの行為にいたく感激すると共にこの少年の住家を探しております

東京電力職員から寄贈

「その三」東京電力KK越谷営業所職員一同から一、〇五〇円を町内貧困者に支給して下さいと、代表者から寄贈されました

町議会議員が二千九百円

町議会議員で二千九百円、町内の不幸な人々にと寄附がありました、なお山口浩氏が個人で二千四百円の寄附がありました早速以上の方々の意を体し手配いたしました

歳末、愛の拠出品

沢山あつまる

歳末助け合い運動を実施しましたところ、町民各位の当運動によせた深いご理解とご協力により好成績をもつておわることが出来ました、次にその結果をお知らせし、本紙上をもつて厚くお礼申し上げます（厚生課）

粳白米＝四石六斗八升八合

衣　類＝二、五〇一点

ユニセフ粉乳の無料配給

姙娠五カ月以上出産後六カ月までの姙産婦及び一才以上二才までの赤ちゃんに、次の通りユニセフ粉乳を無料配給いたします

一月十日川柳深井方、同十一日蒲生支所、同十二日増林支所、同十三日大相撲支所、同十四日新方支所、同十五日桜井支所、同十六日大袋支所、同十七日荻島支所、同十八日出羽支所、同十九日越ケ谷公民館、同二十日大沢支所、

（注）母子手帳、認印ご持参のこと、通知のない方でも該当者は配給が受けられますからおいで下さい、時間は各会場共午前九時から正午まで

現金＝八万一千九百四円

以上の手厚い品を二百二戸六五一名に公平に配分いたしました

各地区の話題

―あちら―こちら―

東小林の秋谷さん
農家組合応援で米を完納

東小林の秋谷豊子さんは、去る八月五日、日本脳炎で夫秋之助さんを失い、一人で健気に七才の長女と、三才の長男をかかえ、田畑四反五畝を耕作しております、たまたま本年産米の予約十俵を農協に申込み卒先して供米を果そうと一人で精魂を傾け働きつづけておることを当部落の須賀正治組合長さんはみかねて、組合員に相談し秋谷さんを応援しようということになり、農事や供米作業を手伝つて十俵の予約を無事果しました、秋谷さんのよろこびはもとより、部落協同して応援した賜が卒先供米百％となり近隣者への大きな刺戟ともなり、その行為はいま話題となつています（須賀広報協力員）

蒲生婦人会が
中野さんを励ます

蒲生の中野やいさんは一家の柱と頼む夫が思いがけない病気のため、全く働き手を失い困つておりましたが、これをきいた蒲生婦人会（会長神谷わか）東組会員一同は、自分の仕事の忙しいにもかかわらず、秋の取入れ作業や、麦播などを手伝い、中野さんを力づけはげましました、この行為は婦人会一致団結の賜であり近隣感謝の的になつております（中野広報協力員）

荻島中学校で
購買部を開設

荻島中学校では去る十一月十二日に購買部を開設しました、これは越谷町合併三周年を記念して開設したもので、売品係をおかず買いたい者は伝票に氏名、品名、金額を書いてお金と共に箱に入れ、自由に品物をもつてゆく仕組みで勿論販売係（店番）は居りません、正直な心を育てたいのがその主眼で、その名も公聴購買部といいます、なかなか自主的に自由に利用出来るこの購買部は生徒間に好評で、しかも売上金には一円の間違いもないことには感謝しました、これが立派に生長してゆくことを念願しています（田中校長より）

栄養講習開かる

桜井地区婦人会では、今度町で食生活の改善指導を行うため栄養士を迎えたことを知り、早速町に依頼去る廿三日から三日間町の栄養士、保健婦の指導のもと栄養講習が開かれました、婦人会員多数がありあわせの材料をもちより、実地に栄養価のある料理を作りながら農村の食生活改善を計るこの講習に、熱心に勉強する姿はたのもしい限りでした（国保課）

農業委員会の選挙区と定数

▽第一選挙区（定数七人）
区域＝大字砂原、小曾川、野島、南荻島、北後谷、西新井、長島、大間野、七左衛門、越巻、谷中、神明下、四丁野の各地及び越ケ谷

▽第二選挙区（定数六人）
区域＝大字大里、下間久里、上間久里、大泊、平方、恩間、大竹、大道、袋山、三野宮、恩間新田、大林、大房の各地

▽第三選挙区（定数八人）
区域＝大字船渡、大松、大杉、北川崎、向畑、大吉、弥十郎、増林、増森、中島、東小林、花田の各地及び大沢

▽第四選挙区（定数九人）
区域＝大字蒲生、登戸、瓦曾根、西方、東方、見田方、四条、別府、千疋、南百、麦塚、伊原、上谷の各地